

兵庫県のみ漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 14号)

レプトシリンダラスやリゾソレニア等数種の珪藻が、この海域中央から西部にかけてやや目立って見られました。今回調査は上げ潮～満潮時ということで、この海域東部の窒素は $1 \mu\text{g-at/L}$ 台、中央から西部は $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場平均 10.1°C 。昨年比 1.0°C 低く、平年比 0.4°C 高い。(塩分) 平均 32.02psu 。前回(32.11)より約 0.1psu 低い。

(栄養塩、珪藻) 海域中央から西部にかけては、レプトシリンダラスが主体となりやや目立って(海水 1ml あたり 300 細胞前後)確認されるが、細胞の色素はかなり薄く活力は低いと思われる。ユーカンピアは海水 1ml あたり 10 細胞前後と少ない状況。明石海峡周辺(大蔵海岸～松帆の地点)の窒素は $1.1\sim 2.2 \mu\text{g-at/L}$ となっており、その海水の影響が見られた東部域では $1 \mu\text{g-at/L}$ 台前半の値であったが、中央以西では前回調査同様低い値であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.4	10.1	9.7	11.1
窒素	0.5	0.7	1.4	1.3
リン	0.32	0.24	0.27	0.40

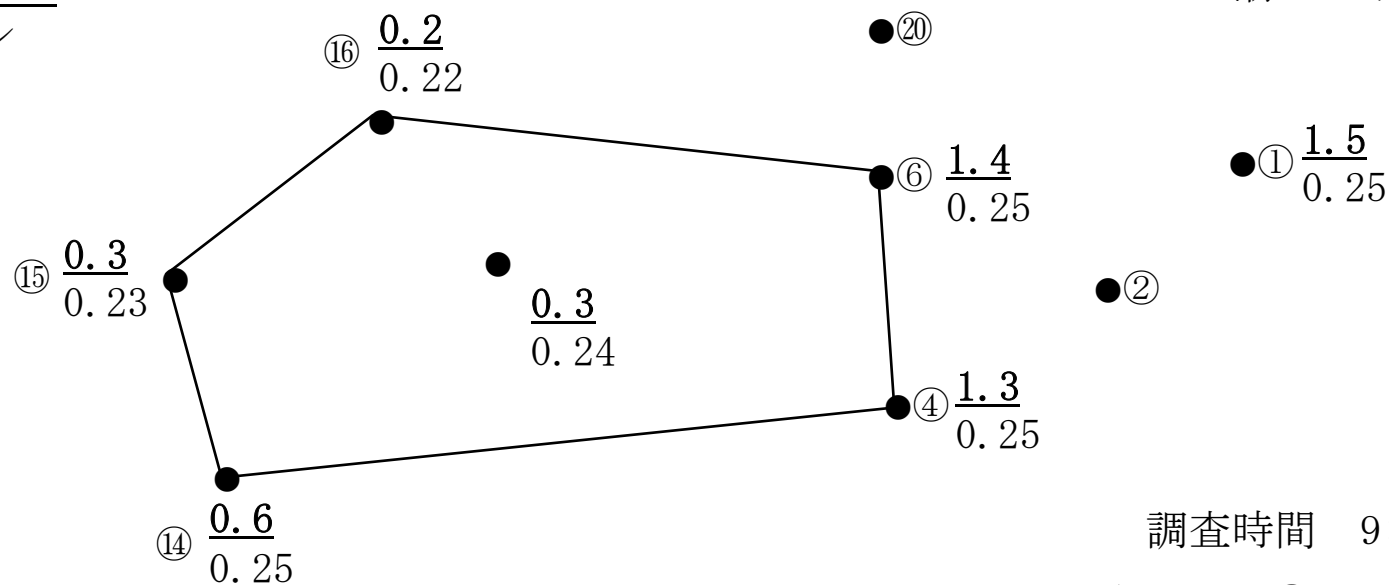
(3/1) (3/12)

2021年 3月11日調査

栄養塩図

潮：上げ潮～満潮

窒素
リン



調査時間 9:20～9:57

(カンタマ① 7:38 上げ潮)

水温・塩分図

水温
塩分

